

西部地区

こんなまちになったらいいな

地区別懇談会 の記録

第1回

日時：令和3年11月19日（金）18:30～21:00
場所：氷川コミュニティセンター集会室

参加者数：26名

当日の様子

当日のプログラム

1. 開催にあたって

2. 意見交換

ワークショップ①：まちの活動や取り組みを知ろう

ワークショップ②：地区の特徴を共有しよう

ワークショップ③：こんなまちになったらいいな

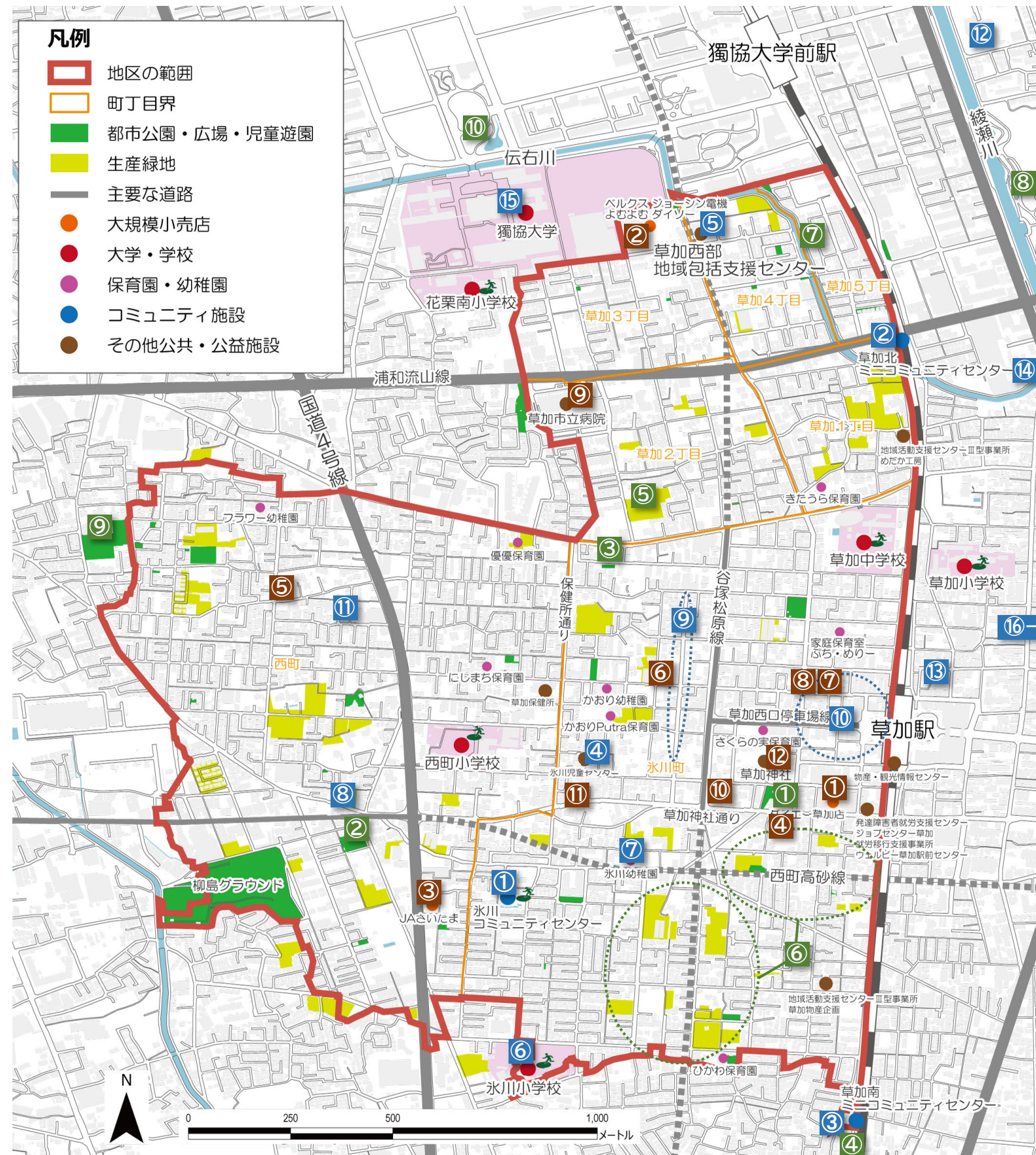
3. 検討結果の発表

4. 閉会・次回のご案内



ワークショップ①：まちの活動や取り組みを知ろう の記録

ワークショップ①では、日常生活や地域活動などでよく使う場所と利用の目的について、地図を見ながら意見を出し合いました。



■地域の活動・活動の場所

- ①氷川コミュニティセンター
- ②草加北ミニコミュニティセンター
- ③草加南ミニコミュニティセンター
- ④氷川児童センター
- ⑤草加西部地域包括支援センター
- ⑥氷川小学校
- ⑦氷川幼稚園
- ⑧西町第一会館
- ⑨花いっぱい運動
- ⑩草加駅西口商店会
- ⑪みんなのひろば「あきちゃんち」
- ⑫草加市文化会館【地区外】
- ⑬草加市ファミリーサポートセンター【地区外】
- ⑭地域の居場所「さかえーる」【地区外】
- ⑮獨協大学【地区外】
- ⑯中央公民館【地区外】

■みどりの空間・公園

- ①氷川中公園
- ②西町南公園
- ③氷川西部ふれあい広場
- ④谷塚高架下公園
- ⑤宇田川農園
- ⑥農地・市民農園
- ⑦伝右川沿い
- ⑧まつばら綾瀬川公園【地区外】
- ⑨苗塚塚前公園【地区外】
- ⑩松原団地記念公園【地区外】

■よく利用する生活施設や歴史・文化施設等

■買い物等で利用する場所

- | | | |
|---------------|-------------|----------|
| ①ダイエー草加店 | ②ベルクス草加松原店 | ③JAさいたま |
| ④キャトルカール | ⑤真野商店 | ⑥チャヴィペルト |
| ⑦居酒屋 NAHOH | ⑧STEAM CAFE | ⑨草加市立病院 |
| ⑩クマガイこどもクリニック | | ⑪石井外科医院 |

■歴史・文化施設等

- ⑫草加神社

※詳細は3ページに記載しております。

■地域の活動・活動の場所

①氷川コミュニティセンター

- ・町会活動（氷川南町会夏祭り・ハロウィンと道案内・子ども会クリスマスイベント）や、その他地域の活動（茶道等）を開催。地域の中心となっており賑やか
- ・高齢の方向けのイベントには多くの参加者がいる（毎月第2水曜パリポリくん体操、第2木曜輪投げ練習等）
- ・ボーイスカウト活動
- ・子どもと庭を散歩している

②草加北ミニコミュニティセンター

③草加南ミニコミュニティセンター

- ・氷川以外のコミセンとして利用

④氷川児童センター

- ・子どもたちの集いの場（夏にはお化け屋敷を開催）

⑤草加西部地域包括支援センター

- ・子ども食堂を開催
- ・子育て支援のママの集まり（未就学児）

⑥氷川小学校

- ・見守り隊の活動
- ・四季の花を楽しむ

⑦氷川幼稚園

- ・花見（桜）をする

⑧西町第一会館

- ・クラブ活動（カラオケ、コーラス、輪投げなど）
- ・高齢者の健康維持活動

⑨花いっぱい運動

- ・町会内の地域の道路で花いっぱい運動を実施
- ・町内の一部の通りに、花のプランターを約 30 箇所設置している。設置数、設置箇所を増やすために、現在、「いっぱい花をさかせ隊」として 10 名程度で活動。子どもや町会員以外も参加している

⑩草加駅西口商店会

- ・防犯パトロールをしている

⑪みんなのひろば「あきちゃんち」

- ・NPO 法人さくらんぼ(当時)が一軒家を改装してできた地域サロンの活動の場
- ・水曜、子育ての日に利用

⑫草加市文化会館【地区外】

- ・男女共同参画さわやかサロン
- ・ふささら祭り

⑬草加市ファミリーサポートセンター【地区外】

- ・講習を受けた一般の方が一時保育をしてくれる
- ・日曜日は子どもを預けられる場所が少ないため、活用している

⑭地域の居場所「さかえーる」【地区外】

- ・様々な世代が利用している
- ・町会活動も行われている

⑮獨協大学【地区外】

- ・親子広場

⑯中央公民館【地区外】

- ・子育てサークル、マタニティサロン、影絵の制作

■みどりの空間・公園

①氷川神社公園

- ・SL 機関車（子どもたちに人気）、カ石がある
- ・きれいに整備されている
- ・公園内にトイレがあって便利
- ・お正月、七五三、初宮詣、花見等で利用

②西町南公園

- ・高齢者のグラウンドゴルフ（週4回）
 - ・公園の清掃（ボランティア活動）
- ⇒地域のために役立つことを実施(公園以外でも)
- ・備蓄倉庫（一時集合場所も有）

③ふれあい広場

- ・グラウンドゴルフ場、子どものサッカー練習場
- ・火・木・土・日の午前中にグラウンドゴルフを行っている
- ・年に一度氷川町西部町会のフェスティバルを開催（直近2年は未開催）
- ・防災フェスティバルを開催

④谷塚高架下公園

- ・子どもの遊び場

⑤宇田川農園

- ・いちご狩りができる

⑥農地・市民農園

- ・四季の花を楽しむ
- ・家庭菜園、貸農園
- ・畑の上から、月や星、流星群、飛行機雲等を眺める

⑦伝右川沿い

- ・ウォーキング

⑧まつばら綾瀬川公園【地区外】

- ・イベントが多数開催されている

⑨苗塚塚前公園【地区外】

- ・国道4号線を越えないで行ける（以西で）大きな公園
- ・小さい子ども遊べる

⑩松原団地記念公園【地区外】

- ・子どもたちがよく遊んでいる

○自宅周辺・地区全域

- ・散歩やウォーキングをしている

■よく利用する生活施設や歴史・文化施設等

■買い物等で利用する生活施設

- | | | | |
|-----------------------|--------------------------------------|----------|----------------|
| ①ダイエー草加店 | ②ベルクス草加松原店 | ③J Aさいたま | ④キャトルカール（ケーキ屋） |
| ⑤真野商店 | ⑥チャヴィペルト（地元の野菜が買える。子どもの農業体験ができる） | | |
| ⑦居酒屋 NANO H | ⑧STEAM CAFE（オーナーがカナダ出身で英会話教室を開催している） | | |
| ⑨草加市立病院（シュークリームがおいしい） | ⑩クマガイこどもクリニック | ⑪石井外科医院 | |

■歴史・文化施設等

- ⑫草加神社

ワークショップ②：地区の特徴を共有しよう の記録

ワークショップ②では、『地区の良いところ・魅力』や『改善したいところ・課題』について、意見を出し合いました。

まちの住民やコミュニティの特徴

■若い世代

- 地域の活動として多くの人が集まれるふれあい事業はよい。
- ▲若い世代の活動の場がない。
- ▲町会の役員を引き受けてもらえる人が少ない。若い人の参加に期待しているが…。
- ▲将来転居してしまうような賃貸住まいの人が多い。

■高年者

- とても元気な高年者が多い。
- あいさつ活動をしている高年者のグループがある。
- 地域のゴミ拾い活動をしている高年者がいる。
- 介護者のつどいなど、相談できる場所がある。
(介護者の集い「オアシス」、平成塾、ほっとスペース「らくだ」など)
- 西町第一会館は高年者がよく利用している。町会が非常に協力的。
- ▲これから高年者が増えるなかで、ふれあえる機会が今後も続いていくと良い。

■子ども・子育て

- 子どもが多い。
- ▲子どもたちが地元（草加）に愛着を持ててないのではないかと感じる。
- ▲外国にルーツのある子どもたちにも子育て支援が必要である。
- ▲昔あった駄菓子屋のような場所がない。子どもだけでも行けるようなお店があるとよい。
- ▲家族で遊べる場所が少ない。
- ▲子どもが遊ぶ場所・公園が少ない。
- ▲西町南公園などせっかく広い公園があるのに、子どもたちの遊ぶ姿がほとんど見られない。

■地域活動の場所や機会

- ▲気軽に集まれる場（公共施設）が少ない。気楽に集まれる場所が欲しい。
- ▲無料で利用できる施設が少ない。（行政の補助がない）
- ▲地域の活動が行える場所が増えた方がよい。利用しやすい方法も要検討。
- ▲外国人の方が気軽に集える場所が少ない。

地区の特徴や魅力・良いところ● / 地区の課題・今後必要なこと▲

■地域のつながりやコミュニティ活動

（地域のコミュニティ）

- 氷川コミュニティセンターの利用率が高い。地域活動が活発！
- 多種多様な活動をしている団体が多くある。
- 助け合い、声を掛け合う雰囲気が良い。
- ハロウィンウォークイベント。地域の子どもから大人まで交流の機会になっている。10月なら地域の人も参加している。
- 花の管理（グリーンボックス）を町会有志で実施。作業しているときの地域の方からの声掛けが励みになる。
- ▲町会員であっても地域への関心が低い。
- ▲多世代交流の機会が少ない。コミュニケーションが不足している。
- ▲新しい人は入ってくるが、繋がりが薄くなっている。
- ▲特定の人だけで固まりがちである。
- ▲地域住民による課題解決の場がない。
- ▲地域感覚の弱さ。地域を選ぶポイントが、単に自宅から利便性になっているのではないか。
- ▲西町には子ども食堂がない。
- ▲せっかく大学があるのにコミュニケーションが乏しい。連携したい。

（地域のにぎわい）

- 人口が増えている。
- 交通の便がよいので新しく人が入ってきやすい。
- 草加駅前には賑わいがある。
- ▲サードプレイス的な場所が少ない。（家以外でゆっくり過ごせる場所）
- ▲草加駅の東側に比べると地域のイベントが少ない。
- ▲閉店する店が少しずつ増え、にぎわいが減っている。
- ▲各世代共通で楽しめるスポーツを1つ決めて草加全体で盛り上げたい。

（その他）

- 市役所の人が親切である。（まちのイベントに参加しているのをよく見かける）

まちの空間的な特徴

地区の特徴や魅力・良いところ● ／ 地区の課題・今後必要なこと▲

■生活の利便性について

- 買い物に便利である。氷川町は駅に近いので利便性が良い。
- 生活全般的に利便性が高い。
(通勤・通院、買い物環境など。郵便局やコンビニも立地)
- スーパーが多くある。
(ダイエー、西友、イトーヨーカドー等)
- 飲食店が多くある。
- ▲駅周辺とそれ以外など、利用されている場所に偏りが生じている。
- ▲国道4号線より西側に商業施設があった方が良い。
- ▲草加市立病院は、市の中心としてもっと機能してほしい。

■道路・交通環境

(公共交通網・交通利便性)

- 草加駅は急行が止まり便利。
- 駅や病院が近く、コンパクトなまちである。
- 住環境、交通の利便性等、住みやすいまちである。
- 国道4号バイパスが近いので車利用がしやすい。
- 駅西口～国道4号線は静かで交通の便が良い。
- 交通、アクセスが他地区と比べて良い。

(道路の状況・自動車の利用)

- ▲道が狭く、見通しが悪い。歩道が狭い。
- ▲道路の舗装がガタガタのところ、狭い道も多い。
- ▲狭い道でも抜け道として使われており交通量が多い。
- ▲通学路の車通りが多い。
- ▲交通ルールが悪く、運転が荒い。
- ▲交差点が危ない。交差点にミラーを付けてほしい。

(歩行者環境・自転車の利用)

- ▲自転車のマナーが悪い。交差点で自転車が止まらない。
- ▲スマホを見ながらの歩行者を多く見かける。
- ▲自転車を止められる場所が少ない。
- ▲子どもと安心して歩ける歩道がほしい。
- ▲自転車専用レーンがない。危険な運転が多発している。
- ▲照明の暗い場所がある。

■居住環境について

(市街地の状況)

- ゴミが少ない。落ちていない。一斉清掃(春、夏)でもゴミが出ない。
- 住宅街は静かで住みやすい。
- 高いビルがなく、空が広い。
- ▲マンション、アパートが多くなってきている。
- ▲一部の集合住宅(若者向け)のゴミ置き場が無法地帯。分別ができておらず、カラスに荒らされている。もう少しキレイになるとよい。
- ▲タバコのポイ捨てが多く見られる。(植木の中にペットボトルや空き缶がある)
- ▲犬の糞を始末しない人がいる。
- ▲虫が多い。(駅前)

(景観・眺望)

- 低層の住宅が中心となっており、富士山が見える。
- ▲みどりが少ない。

(治安・防犯)

- 軽犯罪が少ない。
- 駅前の商業地はお店が多く、安全性が高まってきている。
- 街灯が明るい。
- ▲街灯がなく、暗い所がある。
- ▲防犯カメラの設置が少ない。(万引き・事故防止)
- ▲治安が悪い。(草加駅西口からまっすぐ歩いた道)
- ▲西口の雰囲気(風紀)が課題。犯罪が多い。

(防災)

- 災害に強い。水害が少ない。
- 子どもがいる若い世帯は防災訓練などでは協力的。
- ▲氷川町第二期の区画整理事業が進展せず残念。よって道が狭い。防災上難点あり。
- ▲大地震が発生したとき木造密集地が多く、延焼の災害が発生しやすい。

■資源や歴史・文化について

(農地・農業)

- 駅が近いのに、緑や農地・畑が多く残っている。市民農園も多い。
- 庭先販売が多く、新鮮な野菜が買える。(地産地消の促進)
- 牛山農園は空が広く見えて良い。四季が感じられる。
- 細い道などを見ると農村の名残を感じる。路地に素朴さが残る。
- ▲市民農園や生産緑地の空間は良いが、自由に入ることはできない。

(自然環境)

- 草加桜が植わっている。
- ▲自然を楽しめる公園が少ない。(人工的な公園ばかり)

(公園)

- 小さい公園が多く点在している。
- 高架下公園は使いやすく行きやすいのでよく利用している。氷川小・高砂小の児童が良く利用している。
- ▲大きな公園が少ない。
- ▲そうか公園までが遠い。
- ▲公園の遊具やトイレ、防災井戸が少ない。
- ▲ボール遊びや花火OKの公園がない。自由に遊べる公園が欲しい。
- ▲南池袋公園みたいな場所が欲しい。
- ▲公園の目の前が道路だと子どもが危険だと感じる。
- ▲借地の児童公園等が宅地化されてしまった事がある。

(歴史・文化)

- せんべい屋など歴史ある店が残っている。
- 祭り、イベントが多い。
- 石仏・小祠などにみる文化が残っている。
- 駅を中心に、文化施設が集中している。
- 学びの場がある。(大学、中央図書館)

(その他)

- 給食がおいしい。農業に力を入れているお店がある。
- チャビ農園の豆でクラフトビールを作っている。ふるさと納税の返礼品にも選ばれている。

ワークショップ③：こんなまちになったらいいな の記録

ワークショップ③では、将来、草加西部地区がどのようなまちになって欲しいかを考え、地区のミライの姿について、意見を出し合いました。

◎見出しのテーマ以外で、関連があるテーマには、+ がついています。

● 移動・交通・歩行空間 ● みどり・景観・農業 ● 歴史・文化 ● 防災 ● 子ども・子育て ● にぎわいづくり・活性化 ● 交流 ● 生活環境
● 取り組みアイデアについての意見

テーマ①：移動・交通・歩行空間

歩きたくなるまち

+ み

- ・歩くのが楽しいまち／歩行者が守られるまち。歩車分離。
- 水路を緑化して散歩道にしてはどうか。日暮里の舎人公園が参考になるかも。
- 急行が停まるため、利便性は高い。散歩道みたいな緑道があると良い。そうか公園は遠すぎる。

交通や防犯面で安全なまち

+ 子

- ・夜でも灯りがある、安心して通勤・通学できるまち。／自転車マナー教室を学校に導入してほしい。
- ・子どもだけでそうか公園に行けるまち。／子どもがのびのび遊べる・安心して子育てできるまち。

楽しめる快適な道づくり

- ・無機質な道路を、楽しめる・快適・安全な道路に改良したい。
- ・歩行者に快適な道など、道の性格付けをはっきりさせたい。

安心して歩けるまち

- ・道路の修理をしてほしい。／歩きやすいまち。
- ・区画整理をして車も歩行者も安全にするとよい。
- 草加駅までの通勤用自転車道路を作ってはどうか。

安全・便利に使える交通網の整備

- ・防災の観点から、消防車が入れない、狭い道路が多い。
- ・広幅員の道路新設による地域の分断が心配。
- 狭小道路の交差点は車両のスピード減少のため路面ハンプを設けて安全性を向上させたい。
- 狭い道路は一方通行にする。(交通安全のため)
- 草加と東京湾間を船で通勤できる航路をつくりたい。

テーマ②：みどり・景観・農業

緑化推進と景観を守る

- ・都市の緑化を推進したい。
- 道路に街路樹を植栽し、景観の向上と路面の温度低下を図りたい。

緑のある景観づくり

- ・果実のなる樹のある風景をつくる。
- 住宅地のブロック塀等を無くして、植樹を増やしたい。

みどりや景観を守る

- ・美しいまちなみとあいさつのできるまち。／お花見ができる場所があるとよい。
- ・国道4号線は交通量が多く排ガスの被害をやわらげるため緑の多いまちづくり。

テーマ③：歴史・文化

愛着を生む伝統や行事の継承・発展

+ 交

- ・愛着を生む行事や思い出づくりにより、草加に愛着を持てるようにする。
- 草加もみ、草加お宝かるたなど、草加の伝統をまちづくりに活用する。

テーマ④：防災

災害時も安心なまち

- 防災広場を中心とした災害に強いまち。／防災広場を使ってみることや、広場を一時集合場所にしてコミセンに移動する訓練など。

ITの活用

- ・IT活用した治安・防災に強いまち。

テーマ⑤：子ども・子育て

子どもが笑顔で安全に暮らせるまち

+ 交 生

- ・子育て世代が暮らしやすいまち。
- ・子どもたちの笑顔が絶えない、集会所や公園があるまち。
- ・子どもやペットが交流できる場所がある。
- 子どもたちにとって安全な歩道となるよう自転車道を整備する。

子育てしやすく、子どもが安心できる環境

+ 交

- ・地域で子育てするまち。
- ・「ゆりかごから墓場まで」継続したつながりをつくれる場。
- ・子どもと安心して、交通事故に気を付けて歩けるまち。
- ・公園等でのイベントの絶えないまちづくり。
- 町会の見守り等の地域活動が子育てにつながる。自然と居場所づくり。
- 魅力あるイベントが単発ではなく続いていくことで、子どもが集まる。

テーマ⑥：にぎわいづくり・活性化

地区の名物のPR

- ・草加せんべい以外にも「草加といったらこれ！」と認知されるものができてほしい。

地域の活性化、産業、経済、振興

+ 生 み

- ・お金を落とし、雇用も生まれる、持続可能な仕組みづくり。
- 西部地区だけでお金が回るような仕組み「西部地区経済圏」の形成。
- 農業体験ができるまち。民泊など。／住む、遊ぶ、働くが全てできるまち。
- リノベ物件を活用した地域活性化のプラットフォームづくり。

地域住民の皆さんの課題解決の場をつくる

- ・地域の生活課題に関心を持って、みんなで解決していこうという意識を、地域住民が持てるとよい。
- 地域住民による課題解決の実証の場をつくる。（リビングラボなど）

テーマ⑦：交流

地域の交流・コミュニケーションの取り方を再検討する

- ・地域コミュニティの緩いつながりを成立させる。そのためには行政のサポートが必要。その結果、一人一人が地域を意識する感覚が持てるようになってよい。／興味あるものから、地域コミュニティの輪に参加できると良い。
- ・まちの作法は「義理」「ギブアンドテイク」。コミュニティに参加することのメリットを提示する。
- ・幼稚園、保育園、小中学校の連携に地域の人を巻き込む。（行事に招待するなど）
- イベント等の交流の場づくり。（インセンティブ、コラボ）／小学校の平成塾などを活用し世代間で交流をする。

多世代交流のできるまち

+ 子 み 生

- ・多世代交流、外国人交流が盛んなまち。／高年者が元気なまち。
- ・多世代交流ができる場所、空間があり、いつまでも住み続けたいと思えるまち。
- ・マネタイズ（収益化）×サードプレイス（多世代交流）形成により、持続可能な地域の活性化につなげる。
- 空き家を活用した場づくり。子ども食堂、高齢の方が関わったり、外国人の色々な国の食事の提供。
- 地元農家の食材も利用したこども食堂／地元店舗を活用できる仕組み、仕掛けづくり。

気軽に地域の人とつながれる場があるまち

+ 子

- ・各商店が街のエキスパートになり、何の相談を受けてもお客さんに紹介できるサービスづくり。
- ・子どもたちが楽しく安全に遊べる場所がある。／サークルの人たちがスムーズに運動できる場や環境づくり。
- 住民がみんな町会に入れるような工夫。声かけや町会賞など。／どの世代にも役割がある。小さなことでも助け合い。
- 町会、民生委員、社協、すこやかクラブ等が定例的に会合し情報交換を図って問題点の改善に取り組む。

人と人が交流しやすい場所、機会があるまち

+ 子 移

- ・行政、市民、団体が積極的に連携しやすい仕組みづくり。／コンビニばかりではなく、映画館などがあるまち。
- ・地域がつながっているまち。支えあえるまち。／良い意味で、いつまでも地域に関心を持たなくてもよいまち。
- ・子どもや高齢者が安心して利用できる居場所があるまち。
- もっと個々がつながれると良い。世代間交流発表会や、人が集まって交流しやすい場所づくりなど。

支え合いつながるまち

+ 子 移

- ・ふるさととして感じられる場所。／自然があるだけでなく、自然プラスαがあるまち。
- ・高齢者が生活しやすいまち。／子どもたちが元気に育つまち。
- ・地域との最低限の繋がりがあり、移動手段が確保されているまち。

テーマ⑧：生活環境

多世代のひとがずっと住み続けたいまち

+ 子

- ・草加駅前を中心に東西でまちがきれいに整っている。／永住しやすいまち。／安心して生活できるまちづくり。
- ・ライフステージごとに暮らし方の提案があるとよい。／子どもが結婚してもずっと住みたいと思える、子育てしやすいまち。